非接触型在庫管理システム
に関するニーズ調査

2019年3月
株式会社マーケティングウェア

◆調査概要

製造業をランダム抽出の上、非接触型の個品同時識別ソリューションを在庫管理に
使用することに対するニーズを把握するために実施する。

１. 調査方法	:	電話調査
２. 調査地域	:	全国
３. 調査時期	:	2019年　3月 1日（金） ～　2019年 3月25日（月）
４. 調査対象件数	:	198件
５. 調査機関	:	株式会社マーケティングウェア 〒541-0051大阪市中央区備後町1-4-5　堺筋東野村ビル TEL06-6267-8700　FAX06-6267-8777

◆調査結果

★結果集計表

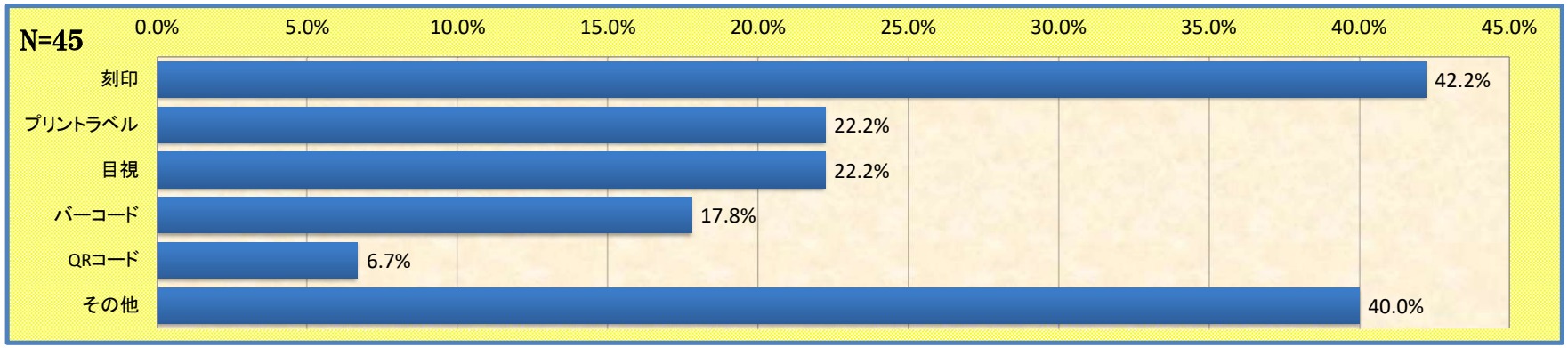
部門名	合計	回答合計	回答	一部回答	受付拒否	担当拒否	電話不明	対話不可	その他
全体	198 100.0%	45 22.7%	44 22.2%	1 0.5%	80 40.4%	17 8.6%	1 0.5%	44 22.2%	11 5.6%
一般機械器具製造業	49 100.0%	12 24.5%	12 24.5%	—	21 42.9%	5 10.2%	—	5 10.2%	6 12.2%
自部品製造業	149 100.0%	33 22.1%	32 21.5%	1 0.7%	59 39.6%	12 8.1%	1 0.7%	39 26.2%	5 3.4%

内容集計

１．金型・部材・部品色別方法

～協力が得られた　４５件について～

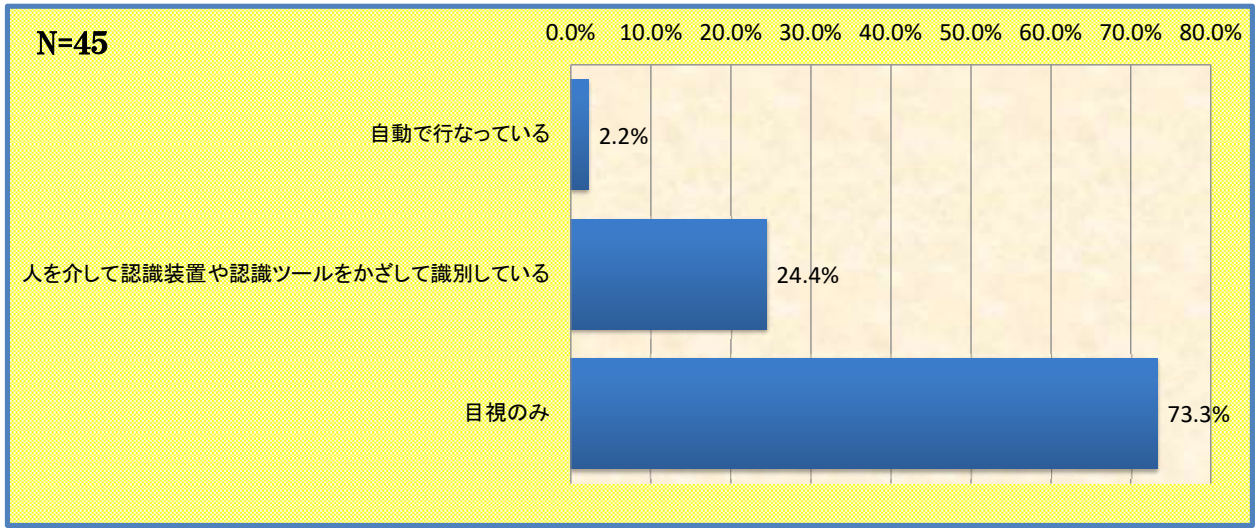
合計	回答計	刻印	プリントラベル	目視	バーコード	QRコード	その他
45 100.0%	68	19 42.2%	10 22.2%	10 22.2%	8 17.8%	3 6.7%	18 40.0%



２．金型・部材・部品識別自動化の有無

～回答が得られた　４５件について～

合計	自動で行なっている	人を介して認識装置や認識ツールをかざして識別している	目視のみ
45 100.0%	1 2.2%	11 24.4%	33 73.3%

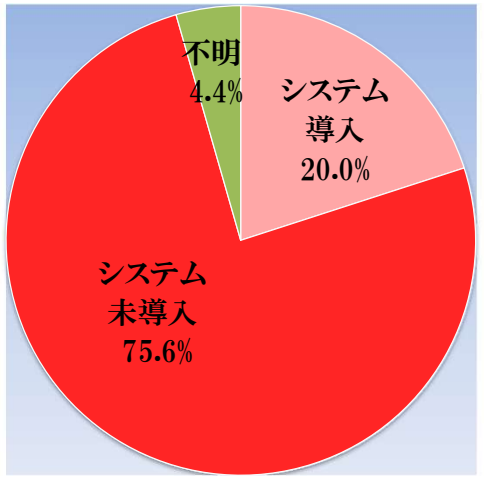


内容集計

３．在庫管理システム導入状況（場所・数について）

～協力が得られた　４５件について～

合計	システム導入	システム未導入	不明
45 100.0%	9 20.0%	34 75.6%	2 4.4%

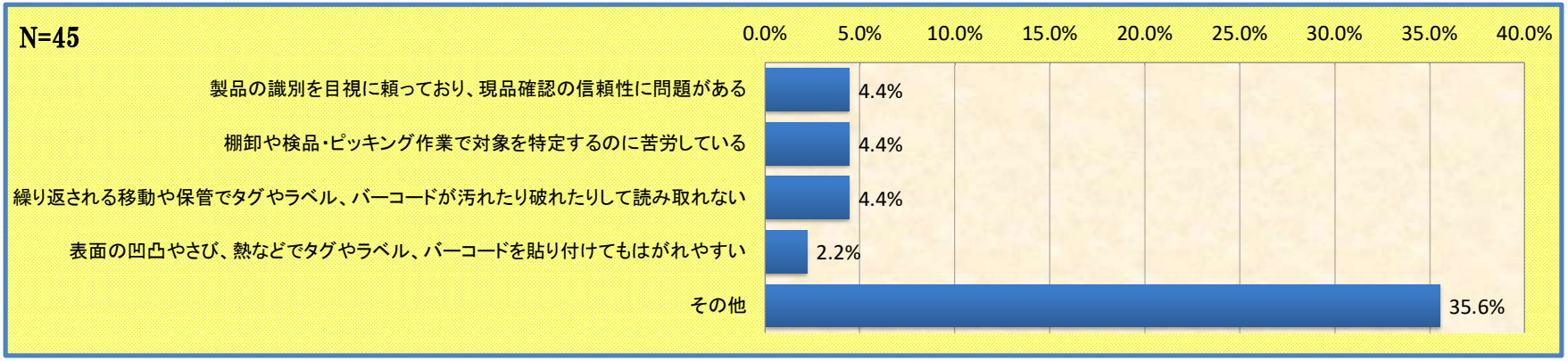


N=45

４．現在の管理方法・識別方法に対する課題

～協力が得られた　４５件について～

合計	回答計	製品の識別を目視に頼っており、現品確認の信頼性に問題がある	棚卸や検品・ピッキング作業で対象を特定するのに苦労している	繰り返される移動や保管でタグやラベル、バーコードが汚れたり破れたりして読み取れない	表面の凹凸やさび、熱などでタグやラベル、バーコードを貼り付けてもはがれやすい	その他	特になし
45 100.0%	49	2 4.4%	2 4.4%	2 4.4%	1 2.2%	16 35.6%	26 57.8%

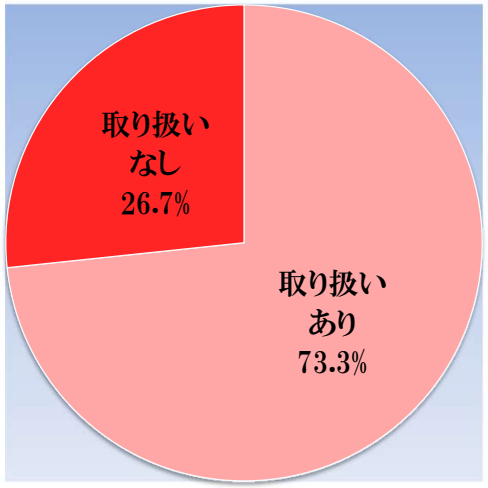


内容集計

５．大量の類似品の取り扱いの有無

～協力が得られた　４５件について～

合計	取り扱いあり	取り扱いなし
45 100.0%	33 73.3%	12 26.7%

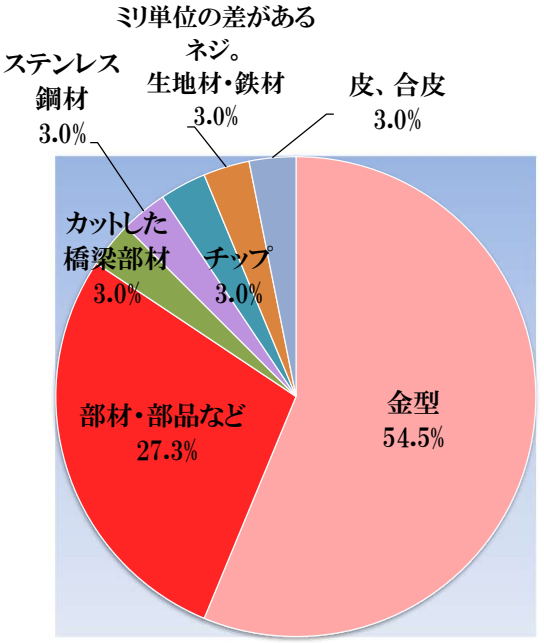


N=45

６．類似品取り扱い内容

～大量の類似品の取り扱いがある　３３件について～

合計	金型	部材・部品など	カットした橋梁部材	ステンレス鋼材	チップ	ミリ単位の差があるネジ。生地材・鉄材	皮、合皮	即答できない
33 100.0%	18 54.5%	9 27.3%	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%



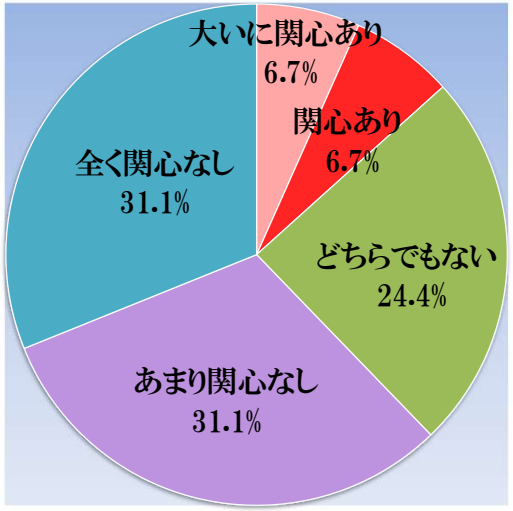
N=33

内容集計

７．非接触型識別への関心度

～協力が得られた　４５件について～

合計	大いに関心あり	関心あり	どちらでもない	あまり関心なし	全く関心なし
45 100.0%	3 6.7%	3 6.7%	11 24.4%	14 31.1%	14 31.1%



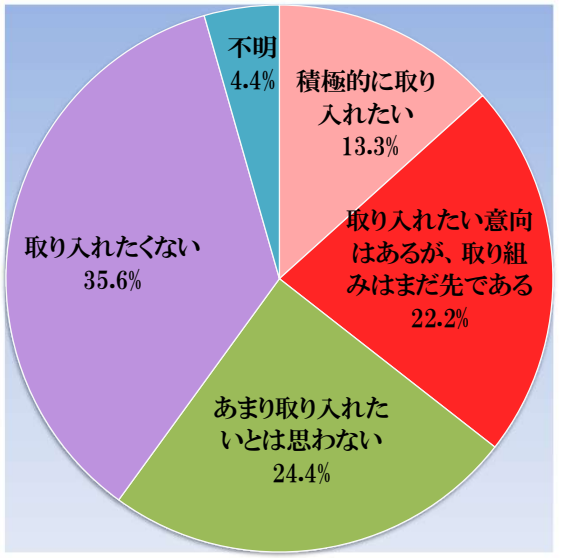
N=45

内容集計

８．非接触による部材・金型認識技術の取り入れ意向

～協力が得られた　６５件について～

合計	積極的に取り入れたい	取り入れたい意向はあるが、取り組みはまだ先である	あまり取り入れたいとは思わない	取り入れたくない	不明
45 100.0%	6 13.3%	10 22.2%	11 24.4%	16 35.6%	2 4.4%



N=45